

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	自主防災体制整備事業						担当部	消防本部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	防災課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	防災係						
	総合計画 分野別計 画	主目的	1 市民生活		4 防災		2 防災体制を充実する									
		副目的														
	予算区分	款	9		項	1		目	5		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画														
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="radio"/> 地域住民組織			一部又は全部委託								
		指定管理・外郭団体			名称:											
		NPO・その他			名称:											
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	地区住民へ大地震時の火災等に対して、街頭消火器による初期消火活動促進する。															
内容 (手段)	<p>アパート、マンションなどを除いて10世帯に1本の割合で街頭消火器を設置。130の自主防災会にその点検を委託している。各自主防災会では毎月1回点検を実施し、その結果を3月に市に報告。市では街頭消火器1本につき1050円/年の委託料を各自主防災会に支払っている。また、市民からの連絡に対しては設置場所へ出向いて、破損・紛失した消火器や収納ボックス等を点検して、交換や修理補修を行う。破損、盗難等への交換対応や使用期限の8年経過した消火器の更新(購入・廃棄)は継続する。</p> <p>H22決算額 主な直接経緯費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭消火器更新(569本分)約237万円 ・街頭消火器格納箱及び架台購入 約49万円 ・街頭消火器保守管理委託料(1本1,050円×4,315本) 約453万円 															
受益者負担	無	内容														

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
	コスト	直接経費		千円	10,172	7,931
正職員		従事者数	人	0.95	0.95	0.95
		人件費	千円	5,096	5,096	5,096
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0
費用合計		千円	15,268	13,027	13,614	
対前年比		%		85.3		
財源	一般財源		千円	15,268	13,027	13,614
	国・県支出金		千円	0	0	0
	その他財源		千円	0	0	0

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23	
		街頭消火器の設置	本	目標	10	—	5	
				実績	10	—		
		街頭消火器の更新	本	目標	705	569	498	
				実績	705	569		
				目標				
	実績							
	績	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
			街頭消火器の設置(累計)	本	目標	4,315	4,315	4,320
					実績	4,315	4,315	
				目標				
				実績				

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	計画どおり街頭消火器の更新を実施した。 街頭消火器の点検を自主防災会が行うことにより、防災意識の向上につながる。市内各自主防災会に毎月1回の街頭消火器点検を委託することにより、初期消火活動時における保管場所の確認に役立つことができた。				
	事業を廃止・休止したときの影響	事業を廃止することで、街頭消火器の点検が行われなくなっていく。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	震災時には、消防力が不足するため自主防災会による初期消火活動等が行われることにより延焼拡大を防ぐことができる。 ただし、点検委託料の支払い手法などについて改善の余地がある。				
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	新築10戸以上の住宅ができた地区に、新規設置を依頼する方法を見直し、要望後に予算措置をすることとした(H23年度の街頭消火器の新規設置は5本)。 破損、盗難等への交換対応や使用期限の8年経過した消火器の更新(購入、廃棄)は継続する。 1本1,050円/年の点検委託料を廃止をし、各地区に対して防災補助制度への導入を検討していく。				

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	外部評価対象事業			